



成人図書室だより 夏号

今年度の成人図書室だよりのテーマは「記念日」です。

8月8日は、がま口の日です

京都市で熟練の職人が真心をこめて手作りするガマ口の専門店「あやの小路」を運営する秀和株式会社が制定。

「あやの小路」は従来の枠にとらわれず、現代のライフスタイルにあった新しいがま口の袋物を作り続け、味わいのある、かわいい、普段使いに馴染む、持ちやすいなどのこだわりを持った製品が人気を集めている。

日付はがま口を閉める音がパチン(8)と鳴ることから、8が重なる日に。

引用文献：『すぐに役立つ 366 日記念日事典 上巻』

(加瀬 清志/著 創元社 2020年) より

関連本をご紹介します

『がま口を作る』 イシカワカオル/著

グラフィック社 2019年

開きやすく小気味いい音が楽しい♪

そんながま口は丸とくし型、角丸型……、三枚口という口金が3枚になっていて仕切ることができるタイプもあります。こちらの本では7種類のがま口のポーチが作れちゃいます！あなたのお好みの一つをどうぞ見つけてください。

594.7

イ

『手仕事の世界』 有吉 玉青/文 黒澤 淳一/画

彩流社 2024年

味のある挿絵とともに、全38の「伝承工芸職人」について語る。伝統として継がれてきたものを継ぐということは。今現在の中で伝統を作るということは。これからも伝統を残すということは。

多くを語らない。けれども深く生きる人々の姿を描くこの本は少し考えさせられる一冊です。

750.2

ア

関連する図書は、他にもございます。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。



7月のテーマ展示 夏を彩る青の世界



7月20日「海の日」にちなんで、海、川、湖など、夏にぴったりの涼しげな青色の世界の本を紹介します

『色の物語 青』 ハイリー・エドワーズ=デュジャルダン／著
丸山 有美／訳 翔泳社 2023年

色の歴史について学んでみませんか？青色がいつ開発され、どのようにして普及していったのかを解説しながら、青色の歴史を紐解くおもしろい本です。ゴッホ、葛飾北斎、モネなどの美しい美術作品が大きく掲載されており、目でも楽しむことができます。

702
エ

『南極の食卓』 渡貴 淳子／著 家の光協会 2023年

第57次南極地域観測隊の調理隊員としての活動を綴った紀行文。南極の気候や昭和基地、仕事内容について紹介しています。約1年半に及ぶ南極生活で気付かされたこととは何だったのだろうか。わたしたちの日常生活について見つめ直すきっかけを与えてくれる1冊です。

297.9
ワ

雑誌コーナーがリニューアル！？

机と椅子。そして本棚……。殺風景だった雑誌コーナーが……、

おしゃれなソファ！
心がやすらぐ観葉植物！

ゆったりゆったり時間を過ごすのにぴったりの空間に生まれ変わりました。

お越しの際にはぜひご利用くださいませ。





8月のテーマ展示 ひえ～っと本で納涼



暑い季節に本で涼んでいきませんか？

『ひんやり氷の本』 前野 紀一／著 池田書店 2013年

夏になったら欠かせない「氷」。氷について、食、文化、科学、宇宙などさまざまな視点から考えた本です。生活の中で身近な氷が、実は不思議でとても奥深い存在だということを知ることができます。お酒を美味しくする氷の秘訣、ふわふわかき氷を作るコツも必見です。

451.6

ヒ

『朝ラク冷凍サンドウィッチ』 田村 つぼみ／著

実業之日本社 2023年

サンドウィッチを冷凍して、前日の夜に冷蔵庫に移動しておけば朝に食べることができるというアイデアレシピ本です。冷凍することで、季節に左右されずに保存することが可能なので、まとめて作り置きもできます。寝苦しい夏を乗り切る心強い味方になってくれるかもしれません。

596.6

タ

テーマ図書は、カウンター横の書棚に展示しています。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。

京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

☎075(802)3133

■開館時間

平日：9時30分～20時まで(児童図書室は17時まで)

土日祝日：9時30分～17時まで

■休館日

毎週火曜日(火曜が祝日の場合は翌平日)、年末年始



※京都市図書館の事業は(公財)京都市生涯学習振興財団が実施しています